

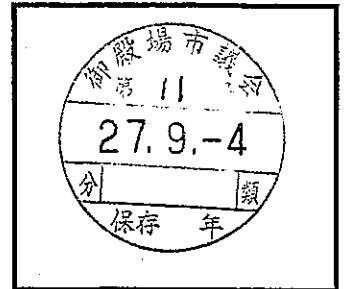
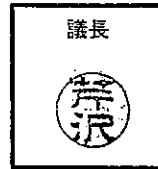
発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。

平成27年 9月 4日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 22番 勝間田 博文



15時10分

発言の種別

- ① 一般質問(一括質問一括答弁方式 一問一答方式) ※ 選択制
2. 代表質問 3. 緊急質問 4. 質疑 5. 討論

質問事項1 地域公共交通対策について

具体的内容 少子高齢化時代の突入により、様々な分野で様々な見直しが求められている。地域公共交通対策についてもその例外ではない。いわゆる交通弱者対策のみでは無く、元気に年を重ねる事の一助としての積極的な社会参加や、日常生活の活動を促す為の地域公共交通対策の必要性も増してきている。時代の変遷と共に、また、価値観の変化と共に、人の求めるものの変化や対策の変化も余儀なくされる。以上を踏まえ伺う。

質問

- 1 「地域公共交通網形成計画」の進捗状況について伺う。
- 2 地域公共交通対策についての新たな課題について伺う。
- 3 デマンド型交通に関する見解について伺う。
- 4 地域公共交通対策の今後の進め方について伺う。

質問事項2 高齢者見守りネットワークについて

具体的内容 近年、少子高齢化に伴い、認知症高齢者や高齢者虐待、孤独死などが全国的な社会問題となっている。当市もその例外ではない。高齢になっても住み慣れた地域で安全・安心な生活が送れる様に、地域全体で高齢者を見守っていく環境づくりが求められている。当市においても昔は当たり前だった近所同士のつきあいも減り、社会構造の変遷により地域から孤立する高齢者がおられると聞く。市全体で高齢者見守りに対する体制を強化し高齢者の異変の早期発見・早期支援に繋げていく為以上を踏まえ伺う。

質問

- 1 当市の現在の高齢化の状況について伺う。
- 2 当市のひとり暮らしの高齢者等の福祉サービスについて伺う。
- 3 地域包括ケアにおける高齢者等の支援体制について伺う。